

申請書の作成にあたっての注意事項

イ 大学等における修学の支援に関する法律による修学支援は、授業料等減免と給付奨学金により行うこととしております。このため、**機構に給付奨学金の申込みも併せて行ってください**。給付奨学金の申込みがない場合、授業料等減免の申請書類審査等に一定の時間を要します。

給付奨学金の申込みを行わず（行う予定がなく）、「機構の給付奨学金に関する情報」の欄を記入できない場合は、（別紙1）の提出が必要です。更に、本学に編入学又は転学（若しくは専攻科に入学）した学生であって、編入学又は転学（若しくは専攻科に入学）する前に在学していた学校（大学、短大、高専、専門学校）が2つ以上ある場合は、あわせて別紙2の提出が必要です。家計急変による申込を行う場合は、あわせて別紙3の提出が必要です。**（給付奨学金をあわせて申し込む（既に申し込んでいる）場合は、別紙1～3の提出は不要です。）**

なお、給付奨学金と授業料等減免の認定の要件は同一であるため、給付奨学金に申し込んだ結果、認定を受けることができなかった（給付奨学生として採用されなかった）場合は、同じ期間、授業料等減免の支援についても受けることはできません。

ロ 給付奨学金に未申請のため、「機構の給付奨学金に関する情報」の欄を記入できない場合は、直近の給付奨学金の申請期間に申請を行い、速やかにその旨を本学に申し出てください。

ハ 「機構の給付奨学金に関する情報」の欄について、予約採用における採用候補者は、採用候補者決定通知の受付番号を記入するとともに、学校から指示があった場合は**採用候補者決定通知のコピーを添付してください**。

ニ 過去に、大学等における修学の支援に関する法律による授業料等減免の支援を受けたことがある場合には、当該期間の月数を申告してください。

ホ 入学年月について、編入学又は転学等により入学した場合は、その年月を記入してください。専攻科に在学している場合は、専攻科に入学した年月を記入してください。

ヘ 申請書に記載された内容及び提出された書類の情報は、授業料等減免の認定及び本学が実施する経済支援のために利用します。また、今後の授業料等減免制度の検討のため、統計資料の作成に利用する場合がありますが、作成に際しては個人が特定できないように処理します。

ト 申請にあたっては、学校から配付される冊子等をよく読み、本制度について理解したうえで行ってください。特に、次のことについて留意してください。

- ① 卒業まで自動的に授業料等減免を受けられるわけではなく、半年ごとに継続願を提出する等、必要な手続きがあること
- ② 定期的実施される収入・資産額等の判定により、支援額が変更となったり、支援が停止する場合があること
- ③ 定期的実施される学業成績の判定により、支援が打ち切りとなったり、支援が遡って取り消される（減免が取り消されて授業料の支払いが必要となる）場合があること
- ④ 本制度により授業料等減免を受ける場合、日本学生支援機構の第一種奨学金（無利子）の利用にあたって当該奨学金の貸与上限額が変更されること
 - ※ 本制度による給付型奨学金を受ける場合も同じように、日本学生支援機構の第一種奨学金（無利子）の利用にあたって当該奨学金の貸与上限額が変更されます。
 - つまり、授業料等減免又は給付型奨学金のいずれか一方でも受ける場合は、第一種奨学金の利用にあたって貸与上限額が変更されます。
 - ※ 貸与上限額の詳細は日本学生支援機構のホームページや資料に記載しています。

申請書の記入にあたっての注意事項

○黒または青のペンで記入してください。消せるペンは使用しないでください。

○記載事項に修正がある場合には、二重線を引いて訂正印を押印して訂正するか、様式をプリントアウトして書き直してください。修正液や修正テープは使用しないでください。

※（A様式1）は、香川大学ホームページに掲載しています。

【掲載場所】 香川大学＜学生生活・就職＜授業料・入学金・奨学金・保険制度＞（在学生用）授業料免除について